

2021年(令和3年)4月オホーツク管内倒産集計

令和3年5月6日

株式会社 東亜リサーチ

北見市常盤町3丁目16番42号

Tel (0157) 23-6288

Fax (0157) 24-1033

発生3件増加の懸念 累計件数同数だが負債額は大幅減

発生件数3件、負債総額1億7,500万円

■前月比	件数	2件増加(令和3年 3月 1件)
	負債総額	8,300万円増加(" 9,200万円)
<hr/>		
■前年同月比	件数	1件増加(令和2年 4月 2件)
	負債総額	1億6,500万円減少(" 3億4,000万円)

令和3年4月の発生状況

令和3年4月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生が3件、負債総額は1億7,500万円だった。これは前月比で件数2件、負債総額8,300万円の増加。前年同月比では件数で1件の増加となったが、負債総額は1億6,500万円の減少となった。当月の3件は北見市の高橋車輛工業(株)(車輛ボデー架装・負債9,700万円)と佐藤建設(有)(建築工事・負債4,200万円)、紋別市の(株)オオカネホン竹本水産(水産加工・負債3,600万円)。高橋車輛工業(株)と佐藤建設(有)は社長死亡、(株)オオカネホン竹本水産は社長の体調不良の影響で売上が減少していたもの。これで3か月連続の発生となり、月間3件の発生は令和元年6月の5件以来となる。

過去5年間の4月の発生状況をみると平成28年から31年はいずれも1件、令和2年は2件であり、平均発生件数は1.2件、同負債総額は1億1,578万円。今年は小規模倒産ながら複数発生となり、件数、負債総額ともに平均値を上回った。

過去5年間と今年4月の発生推移

今年1～4月の発生累計は件数で6件、負債総額は3億3,700万円となり、前年同期間と比較すると件数は同数であるが、負債総額では前年5億円超の発生があったうえ、今年は1億円を超える倒産が無いなど倒産規模が小さいことから、前年比29.6%の金額に止まっている。

過去5年間の発生推移は【右・表】の通りで、平均件数は6.4件、負債総額で8億9,018万円。今年の発生件数は平均値内に止まるうえ、総て1億円未満の倒産規模であるため、最低だった31年に次いで2番目に少ない負債総額となっている。

過去5年間と今年1～4月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
28年	6件	20億6,600万円
29年	11件	5億100万円
30年	6件	5億8,600万円
31年	3件	1億5,990万円
2年	6件	11億3,800万円
3年	6件	3億3,700万円

今後の見通しと問題点

新型コロナ感染拡大の影響は長期化して深刻さを増しているものの、今年に入ってコロナ関連倒産は1件に止まる。新型コロナ感染症貸付やセーフティネットの活用などで凌いでおり、更に長引けば増加の可能性はあるものの、現状コロナ関連倒産は食い止められている。

一方、今年発生したコロナ関連倒産以外の5件の主要因を見てみると社長死亡が直接の要因となる倒産は2件だが、社長死亡や社長の体調不良によって急遽両親や妻が代表に就いたが、業務を掌握している後継者や職員がいないことから、その後業績はじり貧で推移し、破綻に至ったケースが3件を数える。管内の企業経営者は高齢化している反面、後継者や人材不足が深刻化しており、こうした課題を抱えている管内企業は多く、後継者や人材難による倒産が増加する懸念もあり、今後の動向を注視していきたい。